

議会報告会における市民からの  
要望等の報告についての対応

平成28年12月作成

## 重点要望事項

	件 名	頁
1	<p>・第5次総合計画策定について</p> <p>① 第4次総合計画の中で、豊かな文化都市、文化の継承と発展とある。歴史的価値のある建築物を残して、豊かな文化都市、那覇市にしてほしい。</p> <p>② 第5次総合計画の市民案策定に携わっている「なは市民協働大学院」の受講生から、受講生30人を5つのグループに分けて市民案策定となると、少人数で市民案の策定することになるのではと不安である。もっと、多角的に市民意見が反映されるような総合計画にしてほしい。</p>	P1
2	<p>・道路行政について</p> <p>市内のいたるところで雑草が繁茂して、景観を損ねている。観光立県である県都那覇市としてふさわしい環境を保つため、市民と協働して対応してほしい。</p>	P3
3	<p>・子どものための社会づくりについて</p> <p>子どもと遊ぶために市内の公園にいくと、故障などで危険回避のために遊具が使用できない場合も多いが、早めに修繕を行ない、もっと子どもたちが憩える場所を那覇市内に数多くつくってほしい。</p>	P4
4	<p>・認可外保育施設について</p> <p>認可保育所に預けられている子どもと認可外保育施設に預けられている子どもは、どちらも那覇市の子どもたちであるため、保育環境の格差が生じないようにしてほしい。</p>	P6

## 重点要望事項 1

### 第5次総合計画策定について

- ① 第4次総合計画の中で、豊かな文化都市、文化の継承と発展とある。歴史的価値のある建築物を残して、豊かな文化都市、那覇市にしてほしい。
- ② 第5次総合計画の市民案策定に携わっている「なは市民協働大学院」の受講生から、受講生30人を5つのグループに分けて市民案策定となると、少人数で市民案の策定することになるのではと不安である。もっと、多角的に市民意見が反映されるような総合計画にしてほしい

### 対応（企画財務部部企画調整課）

- ① 第4次那覇市総合計画においては、市がめざすまちづくりの一つとして「文化の継承と発展」を位置づけており、体験機会などを通して、市民が郷土の歴史と文化への理解を深め、愛着と誇りを持つとともに、文化財や文化遺産が保存され、伝統芸能などの伝統文化が次世代に継承され発展していくことをめざして取り組んでおります。

現在、第5次総合計画の策定に取り組んでおり、本市における文化のまちづくりの方向性や目的を協議していくなかで検討して参りたいと思います。

- ② 第5次那覇市総合計画策定にあたっては、多くの市民参画を得たこれまでの総合計画を踏まえ、学生や事業者、各種団体の多層的な市民意見を集約し、公募市民で構成される「なは市民協働大学院」の機能と経験を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進することを策定基本方針としております。

総合計画策定に多角的に市民意見が反映されるための取り組み

として、市民協働大学院では、より多くの意見を集約するため、幼稚園児の保護者及び中学生から大学生を含めた市民延べ5千人を対象としたアンケートを実施しております。

また、各分野でまちづくりに積極的に取り組んでいる福祉団体、ボランティア団体や企業へのアンケート及びインタビュー等を実施しております。

また、主管部局では、8月に市内全中学校から代表者が参加したワークショップを開催し、9月に公募に応じた学生が参加した高校生・大学生ワークショップを開催したところです。これから社会で活躍していく若い方々の発想や意見を取りまとめ、これらの意見等を市民協働大学院との共有化を図っております。

このように主管部局としても積極的な連携を図りながら、現在、市民協働大学院では、様々な市民意見を多層的に積み上げ、市民提案の策定に取り組んでいるところであります。

## 重点要望事項 2

### 道路行政について

市内のいたるところで雑草が繁茂して、景観を損ねている。観光立県である県都那覇市としてふさわしい環境を保つため、市民と協働して対応してほしい。

### 対応（建設管理部道路管理課）

市内の道路につきましては、国道・県道・市道があり、それぞれの管理者が管理業務を行っております。

市道の除草につきましては、市内一円において、定期的を実施しているところではありますが、雑草の生育が早く、対応に苦慮しているところでもあります。

そこで、現在106団体とボランティア協定を締結し、市民との協働により除草を含む道路美化活動の推進を図っているところがあります。

今後もボランティア協定の締結を推進する等、市民との協働による道路美化により一層努めて参ります。

### 重点要望事項 3

子どものための社会づくりについて

子どもと遊ぶために市内の公園にいくと、故障などで危険回避のために遊具が使用できない場合も多いが、早めに修繕を行ない、もっと子どもたちが憩える場所を那覇市内に数多くつくってほしい。

対応（建設管理部公園管理課）

高度経済成長期に集中投資した公園施設の老朽化が急速に進行しており、適切に維持管理していくことが重要な課題となっております。

本市が管理する遊具等の公園施設については、那覇市公園施設長寿命化計画を平成 25 年度に策定し、維持管理の方針や長寿命化対策を定め、国が支援する公園施設長寿命化対策支援事業に基づき、地域住民や利用者のご意見を伺いながら、遊具の撤去・更新を行っております。

遊具は最も重要な施設の一つであることから、専門技術者による年 1 回の定期点検を実施し、加えて、月 1 回程度の日常点検を行い、早期の修繕、補修等の計画が行えるようにしており、危険な場合には、直ちに使用禁止を行い事故防止に努めております。

同事業等により平成 23 年度から平成 27 年度にかけて、撤去した遊具が 128 基、更新した遊具が 76 基となっております。

現在、使用禁止となっている約 40 基の遊具については、平成 30 年度までに整備できるよう計画をしております。

平成 28 年度においては、宇久増公園等の 6 公園について、合わせて約 10 基の遊具を撤去、更新による整備を予定しております。

子供のための社会づくりとして、遊具等の公園施設が安全で安心して利用できるようにきめ細やかな維持管理に取り組み、公園

が憩える場所となるよう今後とも努めてまいります。

## 重点要望事項 4

### 認可外保育施設について

認可保育所に預けられている子どもと認可外保育施設に預けられている子どもは、どちらも那覇市の子どもたちであるため、保育環境の格差が生じないようにしてほしい。

### 対応（こどもみらい部こどもみらい課）

2016年4月1日現在で那覇市内の認可外保育施設には約3,500人の児童が入所しています。

那覇市では、認可外保育施設を利用する児童について、保育の質の向上や入所児童の処遇改善の観点から、施設をとおした給食費や内科・歯科健診料の助成、保育材料費の補助、施設設備の改修補助等で年間約4億円の支援を行っています。昨年度からは、認可保育所の待機児童で認可外保育施設に入所しているひとり親世帯に対する保育料支援事業も実施しております。

沖縄県は他県と比較して、認可外保育施設を利用している児童が多くいることから、那覇市としても認可外保育施設の保育の質の向上や入所児童の処遇改善、保護者の負担軽減等に資する支援の更なる充実が必要だと考えておりますので、今後とも、より効率的、効果的な支援の在り方について検討してまいります。

また、中核市の権限である認可外保育施設指導監督を通じた認可外保育施設の支援・指導を充実させることでも、保育環境の向上を図っていきたいと考えております